

○杏林大学大学院学則

制定	昭和51年	4月	1日			
改正	昭和54年	4月	1日	昭和57年	4月	1日
	昭和59年	4月	1日	昭和61年	3月	18日
	平成3年	1月	30日	平成4年	10月	26日
	平成6年	1月	24日	平成7年	3月	16日
	平成7年	3月	27日	平成7年	9月	28日
	平成8年	10月	23日	平成10年	3月	27日
	平成11年	2月	15日	平成11年	6月	21日
	平成11年	9月	20日	平成12年	9月	18日
	平成13年	3月	29日	平成13年	6月	28日
	平成14年	2月	26日	平成14年	3月	29日
	平成14年	4月	25日	平成15年	2月	17日
	平成15年	10月	20日	平成16年	3月	26日
	平成16年	12月	8日	平成17年	10月	26日
	平成18年	3月	29日	平成18年	12月	8日
	平成19年	3月	29日	平成19年	9月	10日
	平成20年	3月	28日	平成21年	10月	26日
	平成21年	12月	3日	平成22年	12月	3日
	平成23年	5月	27日	平成23年	12月	2日
	平成24年	3月	30日	平成24年	12月	7日
	平成25年	5月	24日	平成25年	7月	22日
	平成26年	2月	17日	平成27年	3月	27日
	平成28年	3月	25日	平成29年	3月	24日
	平成30年	12月	7日	平成31年	3月	29日
	令和2年	9月	25日	令和3年	3月	26日
	令和3年	5月	28日	令和3年	12月	3日

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この学則は、杏林大学学則（以下「本学学則」という。）第4条の規定に基づき、杏林大学大学院（以下「大学院」という。）に関し必要な事項を定める。

（目的）

第2条 大学院は、大学建学の精神に則り、専攻分野に関する専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、優れた研究者及び高度専門職業人を養成することにより、文化の進展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第2条の2 大学院は、その教育水準の向上を図り前条の目的及び使命を達成するため、大学院における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については別に定める。

（研究科）

第3条 大学院に医学研究科、保健学研究科及び国際協力研究科を設け、医学研究科、保健学研究科及び国際協力研究科にそれぞれ博士課程を置く。

2 医学研究科博士課程の標準修業年限は4年とする。

3 保健学研究科及び国際協力研究科の標準修業年限は5年とし、これを博士前期課

第3類（杏林大学大学院学則）

程（2年）及び博士後期課程（3年）に区分し、前者を修士課程として取扱うものとする。（以下「前期課程」という。）

- 4 前項の規定にかかわらず、前期課程においては、主として実務の経験を有する者に対して教育を行う場合であって、教育研究上の必要があり、かつ、昼間と併せて夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育上支障を生じないときは、研究科、専攻又は学生の履修上の区分に応じ、標準修業年限を1年以上2年未満の期間とすることができる。
- 5 博士後期課程及び医学研究科博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
- 6 前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。
（専攻）

第4条 医学研究科、保健学研究科及び国際協力研究科にそれぞれ次の専攻を置く。

医学研究科

医学専攻

保健学研究科

保健学専攻

看護学専攻

臨床心理学専攻

国際協力研究科

国際開発専攻

国際医療協力専攻

グローバル・コミュニケーション専攻

開発問題専攻

（研究科又は専攻の目的）

第4条の2 研究科又は専攻ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

2 医学研究科

医学研究科は、科学的な問題解決能力を備える臨床医、旺盛な創造性を持つ基礎医学・生命科学の研究者、社会医学に貢献する有為な人材等豊かな人間性と倫理観・使命感にあふれる医療人の養成を目的とする。

3 保健学研究科

保健学研究科は、保健、医療、看護、福祉及び心理の専門分野において、広い視野と豊かな学識を有し、専門性の高い業務を遂行する人材、並びに研究能力を有する人材を養成することを目的とする。

- (1) 保健学専攻前期課程は、学部教育や職業経験により培った知識・技術をさらに高め、専門職としての卓越した判断力と実践力、および指導力とマネジメント能力を持った高度専門職業人の養成を目的とする。
- (2) 看護学専攻前期課程は、学部教育や職業経験により培った知識・技術をさらに深め、卓越した看護実践力、および指導力とマネジメント能力を持った看護師・

第3類（杏林大学大学院学則）

保健師・助産師を養成する。また、「がん看護」「クリティカルケア看護」「精神看護」に関する専門看護師、感染管理や医療安全管理の指導者の養成を目的とする。

- (3) 臨床心理学専攻前期課程は、心理に関する支援を要する者とその関係者に対して、心理状態の観察、結果の分析、心理に関する相談及び助言、指導その他の支援といった、ニーズに応じた支援を提供できる人材を養成する。また、心理的支援を要する者やそれを取り巻く環境に対して、心の健康に関する知識を普及するための教育ができる人材の育成を目的とする。
- (4) 保健学専攻博士後期課程は、前期課程で培われた専門能力と識見、科学的な思考力をさらに深化させて、学問的基盤を確立するとともに、学際的・国際的な視野に立って諸課題を探究できる研究・教育者の養成を目的とする。
- (5) 看護学専攻博士後期課程は、現代社会における看護・保健領域の複雑かつ多様な看護ニーズに応えるために、前期課程で培われた看護学の専門能力と識見、看護感性をさらに深化させて、学問的基盤を確立するとともに、学際的・国際的な視野に立って諸課題を探究できる研究・教育者の養成を目的とする。

4 国際協力研究科

国際協力研究科は、国際社会において発生する様々な課題を、法律、政治、経済、経営、文化交流、言語、医療、保健衛生、福祉など多くの側面から学際的に把握し、理論的かつ実証的に問題を分析して的確に処理できるような人材を育成し、国際社会に対する支援・協力を推進することを目的とする。

- (1) 国際開発専攻は、世界諸地域の経済社会の発展に資するための開発及び国際協力のあるべき方法・施策を社会科学諸分野にわたり、理論的・実証的に究明するとともに、わが国の政治・経済・経営及び法律・税務の各専門領域について考究し、これらを通じて必要な専門知識の修得はもとより関連分野にも通曉し、実務にも対応できる人材の養成を目的とする。
- (2) 国際医療協力専攻は、世界諸地域に対する保健医療福祉分野の国際協力に必要な幅広い知識と高度な理論を身に付け、国際社会での実践活動に貢献すると共に、問題解決に向け自立して研究課題を設定し、研究活動の実践によりその成果を活かすことのできる人材の養成を目的とする。
- (3) グローバル・コミュニケーション専攻は、わが国を取り巻く国際社会及び、国内で進む多文化共生社会にあって、互いの文化・言語・社会に対する理解の欠如等に起因する諸問題解決のため、異文化間コミュニケーションの専門分野に熟達し、理論と実践、複眼的視座からの深い知見と洞察力をもとに、国内外でこの分野の先導的な役割を担って活躍しうる優れた研究者、及び高度専門職業人に必要な諸技能を身につけた人材の養成を目的とする。
- (4) 開発問題専攻は、国際協力の実践場面で、あるいはその研究分野で、各専門領域の知識と技能を修めた高度な専門家として活躍できる、有用な人材の養成を目的とする。

(研究指導及び授業)

第5条 研究科における研究の指導及び授業は、原則として本学の教授が担当する。

ただし、必要があるときは教授以外の者に分担させることができる。

(研究科長)

第3類（杏林大学大学院学則）

第6条 各研究科に研究科長を置く。

2 研究科長は教授の兼務とし、学長の推薦に基づき、学園の理事会の議を経て、学園の理事長が任命し、その任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

3 研究科長は、その研究科に関する事項を掌理する。

（教務担当）

第6条の2 研究科又は専攻ごとに教務担当を置く。

2 教務担当は教授の兼務とし、研究科長の推薦に基づき、学園の運営審議会の議を経て、学長が任命し、その任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

3 教務担当は、所属する研究科又は専攻の教務に関する事項を掌る。

第2章 運営組織

（大学院委員会及び研究科委員会）

第7条 大学院及び研究科を管理運営するために、大学院委員会及び研究科委員会を置く。

（大学院委員会の組織）

第8条 大学院委員会は学長、副学長、各研究科委員長及び各研究科委員から選ばれた若干名の委員をもって組織する。

2 大学院委員会の委員長は学長とする。

（大学院委員会の職務）

第9条 大学院委員会は次の事項を審議する。

- （1）大学院の運営に関する事項
- （2）大学院の組織に関する事項
- （3）その他大学院に関する重要事項

（研究科委員会の組織）

第10条 各研究科に研究科委員会を置く。

2 各研究科委員会は大学院各研究科の教授をもって組織する。ただし、必要ある場合は関係の准教授・講師を加えることができる。

3 研究科委員会の委員長は研究科長とする。

（研究科委員会の職務）

第11条 研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- （1）学生の入学、卒業及び課程の修了
 - （2）学位の授与
 - （3）第1号及び第2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 研究科委員会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- （1）教育及び研究に関する事項
- （2）教員人事に関する事項
- （3）学生に関する事項
- （4）学長等の諮問に関する事項

第3類（杏林大学大学院学則）

3 学園長、学長、副学長は各研究科委員会に出席し意見を述べることができる。

第12条 大学院委員会及び各研究科委員会に関する細則は別に定める。

第3章 在学年限及び学生定員

（在学年限）

第13条 同一研究科に在学し得る最長年限は、前期課程においては4年、博士後期課程においては6年、医学研究科においては8年とする。

（学生定員）

第14条 研究科専攻別学生定員は、次のとおりとする。

研究科名	専攻	博士課程		博士前期課程		博士後期課程		備考
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
医学研究科	医学	25	100					
	計	25	100					
保健学研究科	保健学			7	14	4	12	
	看護学			2	4	1	3	
	臨床心理学			25	50			
	計			34	68	5	15	
国際協力研究科	国際開発			6	12			
	国際医療協力			4	8			
	グローバル・コミュニケーション			10	20			
	開発問題					5	15	
	計			20	40	5	15	

第4章 学年、学期及び休業日

（学年）

第15条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、秋学期入学者は9月15日に始まり、翌年9月14日に終わる。

（学期）

第16条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

2 前項の学期の呼称及び期間は、各研究科において定める。

（休業日）

第17条 休業日は次のとおりとする。ただし、第4号から第6号の休業期間の始期及び終期は、年度ごとに学長が定める。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に定めた祝日
- (3) 杏林学園創立記念日 11月11日
- (4) 春季休業

第3類（杏林大学大学院学則）

(5) 夏季休業

(6) 冬季休業

2 学長は、必要により臨時に休業日を設け、又は休業日を授業日に変更することができる。

第5章 授業科目、単位及び履修方法

(授業科目)

第18条 研究科における授業科目及び単位については、別表1-1、1-2、1-3、1-4、2-1、2-2、2-3、3-1及び3-2のとおりとする。

(指導教授)

第19条 入学を許可された者には、専攻課程に従って、それぞれ指導教授を定める。

2 指導教授は、必要に応じて2人以上とすることができる。

第20条 学生は指導教授の指示を受け、指定された期日までに履修計画を研究科長に提出しなければならない。

第21条 研究科の授業科目は、主科目、及び副科目とする。

(履修の方法)

第22条 教育課程及び履修方法の細部については、各研究科において定める。

2 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、予め協議の上、本学の他研究科又は他大学の大学院等の授業科目を履修させることができ、15単位を超えない範囲で本学各研究科において履修したものとみなすことができる。

3 学生が本学入学前に他の大学院において履修した授業科目の単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を、15単位を超えない範囲で本学において履修したものとみなすことができる。

4 前2項の規定により認定できる単位数は合わせて20単位を超えないものとし、当該単位数と修得に要した期間等を勘案して、1年を超えない範囲で本学の在学期間として算入することができる。ただし、博士後期課程の在学期間には適用しないものとする。

(教育方法の特例)

第22条の2 各研究科において、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

2 文部科学大臣が別に定めるところ（平成13年文部科学省告示第51号）により、授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(科目履修の認定)

第23条 学科目の履修の認定は、学期末又は学年末に試験又は研究報告によって行い、その方法は学科目担当教授が定める。

2 試験又は研究報告の成績は、S（90点以上～100点）、A（80点以上～90点未満）、B（70点以上～80点未満）、C（60点以上～70点未満）、D（60点未満）の5種とし、SABCを合格、Dを不合格とする。

(単位の認定)

第24条 合格した学科目については、所定の単位を与える。

第3類（杏林大学大学院学則）

2 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して1単位とする。

(再試験・追試験)

第25条 不合格の学科目については、再試験を行うことがある。病気その他やむを得ない事由により、正規の試験を受けることができなかつた者については、追試験を行うことがある。

第6章 課程の修了要件

(前期課程の修了要件)

第26条 前期課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、当該大学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、次に該当するものは定めるとおり同課程に在学すれば足りるものとする。

特に優れた研究業績を挙げた者 1年以上

第22条により単位が認定された者 1年以上

(博士課程の修了要件)

第26条の2 博士課程の修了要件は、次の各号のとおりとする。

- (1) 医学研究科博士課程の修了要件は、同課程に4年以上在学し、30単位以上を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、次に該当するものは定めるとおり同課程に在学すれば足りるものとする。

特に優れた研究業績を挙げた者 3年以上

第22条により単位が認定された者 3年以上

特に優れた研究業績を挙げ、かつ第22条により単位が認定された者 2年以上

- (2) 保健学研究科及び国際協力研究科博士課程の修了要件は、同課程に5年（前期課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、前期課程の修得30単位を含め50単位以上を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を挙げた者については、同課程に3年（前期課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

2 前条ただし書きの規定による在学期間をもって前期課程を修了した者の博士課程

第3類（杏林大学大学院学則）

の修了の要件は、前期課程における在学期間に3年を加えた期間当該課程に在学し、各研究科の所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。ただし、特に優れた研究業績を挙げた者については、当該課程に3年（前期課程における在学期間を含む。）在学し、各研究科の所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

- 3 第1項及び前項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第70条の2の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が、認めた者が博士課程の後期課程に入学した場合の博士課程修了の要件は、同課程に3年以上在学し、学位論文を提出しその審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を挙げた者については、同課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

（学位論文及び最終試験の可否）

第27条 学位論文及び最終試験の合格、不合格は、当該研究科委員会の審査報告に基づいて学長が決定する。

- 2 審査の方法は各研究科において決定する。

（学位）

第27条の2 前条第1項により合格した者に次に定める学位を授与する。

修士

保健学研究科

保健学専攻

修士（保健学）

看護学専攻

修士（看護学）

臨床心理学専攻

修士（臨床心理学）

国際協力研究科

国際開発専攻

修士（開発学）

国際医療協力専攻

修士（国際医療協力）

グローバル・コミュニケーション専攻 修士（学術）

博士

医学研究科

博士（医学）

保健学研究科

博士（保健学）

博士（看護学）

国際協力研究科

博士（学術）

（単位認定書の交付）

第28条 博士後期課程及び医学研究科博士課程において、在学期間中に所定の単位を修得したが、学位論文の提出に至らなかった者は、単位認定書の交付を受けることができる。

第7章 入学・休学・復学・退学及び転学

（入学の時期）

第29条 入学の時期は各学年の始めとする。

（入学の資格）

第30条 医学研究科に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- （1）大学における医学、歯学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者

第3類（杏林大学大学院学則）

- (2) 大学における修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) 外国において、学校教育における18年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、獣医学又は薬学の課程であった者
 - (5) 医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に4年以上在学し、又は外国において学校教育における医学、歯学、獣医学又は薬学を含む16年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院が認めた者
- 2 保健学研究科及び国際協力研究科に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者と大学院が認めた者
 - (6) その他第1号に該当する者と同様以上の学力があると、大学院が認めた者で22歳に達したもの
- 3 保健学研究科及び国際協力研究科の博士後期課程に入学（本学前期課程からの進学及び他大学大学院からの入学）する資格のある者は、修士の学位を有する者、文部科学大臣の指定した者、又はそれと同様以上の学力があると、大学院が認めた者で24歳に達したものとする。

（入学出願）

第31条 入学を志願する者は、別に定める入学検定料を添えて、所定の入学願書を提出しなければならない。

（入学許可者の選考）

第32条 入学は、志願者の学力、人物、健康等について選考のうえこれを許可する。

（入学手続）

第33条 入学の許可を受けた者は、所定の期日までに所定の学納金を添えて誓約書を提出しなければならない。

（休学）

第34条 疾病その他やむを得ない事由のため、3月以上修学できないときは、学長に願い出て休学をすることができる。この場合、その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

- 2 休学の期間は1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することがある。

第35条 疾病のために修学することが適当でない認められる者に対しては、学長は研究科委員会の議を経て、休学を命ずることができる。

（復学）

第36条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、学長に願い出て復

第3類（杏林大学大学院学則）

学することができる。この場合、休学の事由が病気であるときは、本学附属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第37条 休学の期間は、第13条の修業年限に算入しない。

（退学）

第38条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該研究科長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第39条 前条により退学した者で、退学の事由が消滅し、再び入学を願い出る者があるときは、当該研究科委員会の議を経て、これを許可することができる。

2 退学により再入学までの期間は本学学則第37条の規定に準ずる。

（転学）

第40条 他の大学院から本大学院に転入学を志願する者については、選考のうえこれを許可することができる。この場合、他の大学院において修得した単位及び在学年数は本大学院における単位及び在学年数として、これを換算することができる。

2 本大学院から他の大学院に転学を志願する者は、主科目担当教授を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。

（教職課程）

第40条の2 大学院に教職課程を置く。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第40条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める大学院教職課程履修規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修研究科・専攻）

第40条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する研究科・専攻は次のとおりとする。

履修する研究科・専攻	免許状の種類	
保健学研究科 保健学専攻	養護教諭 専修免許状	養護
	中学校教諭 専修免許状	保健
	高等学校教諭 専修免許状	保健

第8章 除籍及び懲戒

（除籍）

第41条 次の各号の一に該当する者は、当該研究科委員会の議を経て学長がこれを除籍する。

- (1) 故なくして、3月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第34条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

第3類（杏林大学大学院学則）

- (3) 第13条に定める在学年限を超える者
- (4) 行方不明で失踪の届出のあった者
(懲戒)

第42条 本学の建学精神、教育方針に違背し、大学院学生としてふさわしくない行為をした者は、当該研究科委員会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で、改善の見込みのないと認められる者
 - (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者
 - (3) 正当の理由がなくて、出席常でない者
 - (4) 本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 学納金

(入学検定料、入学料等の額)

第43条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

- 2 入学料、授業料その他の学納金の額については、別表4のとおりとする。
(授業料等の納入)

第44条 授業料、施設設備費は、それぞれの年額の半額を前期、後期の始業時まで納入するものとする。

- 2 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が6か月以上にわたる者の授業料その他の学納金については別に定めるところにより、減免することがある。
- 3 海外留学する場合、本学に納入すべき費用については別に定める。
- 4 第2項の規定にかかわらず、国際協力研究科に在籍する者で企業等に在職中の者が企業等の都合により第16条に規定する1学期間にわたり休学する場合は、授業料等は徴収しない。
- 5 前項の規定により休学する者は、企業等の所属長による休学の事由書を添付の上、学長に休学を願い出るものとする。ただし、授業料等を徴収しない休学の期間は、1年を超えることはできない。
- 6 授業料等学納金を所定の期日までに納入しない者は、授業への出席、図書の閲覧その他施設の利用を認めない。

第45条 授業料その他既納の学納金は、いかなる理由があっても還付しない。

第46条 削除

第10章 外国人特別生、科目等履修生、聴講生、特別聴講生、委託生及び研究生

(外国人特別生)

第47条 大学院に入学を希望する外国人で、外務省在外公館又は自国公館の紹介ある者は、第32条の規定にかかわらず選考のうえ、外国人特別生として入学を許可することがある。

(科目等履修生)

第3類（杏林大学大学院学則）

第47条の2 本大学院の学生以外の者で本大学院の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障がない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることができる者は、次の各号の一に該当する者でその学力を考査し、履修する科目を理解するに足る学力があると当該研究科委員会が認めた者に限るものとする。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められた者

3 科目等履修生には本学則を準用する。

4 科目等履修生には第23条及び第24条の定めにより所定の単位を与える。

5 科目等履修生を希望する者の手続並びに選考料、登録料及び履修料については別に定める。

（聴講生）

第48条 特定の学科目の聴講を志願するものがあるときは、当該研究科委員会において、その学力を考査し、欠員のある場合に限り聴講を許可することができる。

2 聴講生を志願することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められた者

3 聴講生を志願する者の手続並びに選考料、登録料及び聴講料については別に定める。

4 大学院は、他大学大学院との協議に基づき、他大学大学院の学生で本大学院の授業科目を履修する者を特別聴講生として受け入れることができる。この特別聴講生については別に定める。

（委託生）

第49条 公共団体又は他の大学大学院生等でその公共団体又はその大学大学院の委託によって、大学院研究科における授業科目のなかで聴講を希望する者がいるときは、欠員のある場合に限り当該研究科委員会の議を経た上で修学を許可することができる。

2 委託生が、聴講科目の試験に合格したときはその授業科目の修了証を授与する。

3 委託生を希望する者の手続並びに選考料、登録料及び聴講料は別に定める。

（研究生）

第49条の2 大学院に研究生をおくことができる。

2 研究生に関し必要な事項は別に定める。

第11章 研究指導施設

（研究指導施設）

第50条 大学院に研究室、実験実習室を設ける。

2 学生は、必要に応じ図書館、各学部の施設及び医学部附属病院の施設を使用するものとする。

第12章 雑則

（改正）

第51条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、

第3類（杏林大学大学院学則）

改正事項が単一の研究科に係る場合は当該研究科の研究科委員会に、2つ以上の研究科に関連する場合は関連する各研究科の研究科委員会に諮り、いずれも研究科委員会委員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、大学院委員会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則に定めるもののほか、大学院学生については本学学則を準用する。
- 2 本学則を改正しようとするときは、研究科委員会委員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、大学院委員会の承認を得なければならない。
- 3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要する。
- 4 本学則は、昭和51年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和54年 4月 1日から施行し、既に在学している学生にも適用する。

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成 3年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
- 2 本学則を改正しようとするときは、改正事項が単一の研究科に係る場合は当該研究科の研究科委員会に、二つ以上の研究科に関連する場合は関連する各研究科の研究科委員会に諮り、いずれも研究科委員会委員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、大学院委員会の承認を得なければならない。

別表1

別表2

別表3

別表4

附 則

本学則は、平成 6年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成 7年 4月 1日から施行する。ただし、第30条第2項第4号の改正規定は、平成 6年 8月10日から施行する。

附 則

本学則は、平成 8年 4月 1日から施行する。

附 則

第3類（杏林大学大学院学則）

本学則は、平成 9年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第43条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、別表3（1）の専攻共通科目中の事例研究については平成12年10月 1日から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。
- 2 別表3-2の授業科目は、平成13年度以降の入学生から適用するものとし、別表3-1の授業科目は、平成12年度以前の入学生に適用する。
- 3 博士前期課程において平成12年度以前の入学生は、国際協力研究科博士前期課程履修規程に定める授業科目対応表により別表3-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表3-1の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 別表3-3の授業科目は、平成16年度以降の入学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 別表3-3（2）の授業科目は、平成15年度以前の入学生にも適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。
- 2 改正後の第43条（別表4）及び第44条については、平成18年 4月 1日

第3類（杏林大学大学院学則）

以降の入学生から適用し、平成17年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、第49条の2の規定は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 別表2-2及び2-3の授業科目は、平成20年度以降の入学生から適用するものとし、別表2-1の授業科目は、平成19年度以前の入学生に適用する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第14条、第18条、第27条の2及び第43条（別表4）の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成23年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成24年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 別表2-4及び2-5の授業科目は、平成24年度以降の入学生から適用するも

第3類（杏林大学大学院学則）

のとし、別表2-1、2-2、2-3の授業科目は、平成23年度以前の入学生に適用する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 別表2-6の授業科目は、平成25年度以降の入学生から適用するものとし、平成24年度以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成26年4月1日以降の入学生に適用し、平成25年9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成27年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成27年4月1日以降の入学生に適用し、平成26年 9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 別表3-4の授業科目は、平成28年4月1日以降の入学生から適用するものとし、平成27年 9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成29年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成31年 4月 1日より施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第4条、第4条の2、第14条、第27条の2および別

第3類（杏林大学大学院学則）

表3－4の規定は、平成31年4月1日以降の入学生に適用し、平成30年9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成31年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、令和 3年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、令和 3年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、令和 4年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、令和 4年 4月 1日より施行する。

（経過措置）

- 2 別表3－3の授業科目は、令和4年4月1日以降の入学生から適用するものとし、令和3年9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

第3類（杏林大学大学院学則）

別表 1 - 1

医学研究科における授業科目及び単位
（平成22年度入学者から適用）

専攻	専 門 分 野	授 業 科 目	単位数
生	器 官 構 築 学	肉眼解剖学 講義・演習	4
		肉眼解剖学 実験・実習	8
		顕微解剖学 講義・演習	4
		顕微解剖学 実験・実習	8
		ゲノム・遺伝学 講義・演習	4
		ゲノム・遺伝学 実験・実習	8
		器官構築学 課題研究	8
		器官構築学 研究論文演習	4
理	病 態 生 化 学	分子細胞生物学 講義・演習	4
		分子細胞生物学 実験・実習	8
		代謝生化学 講義・演習	4
		代謝生化学 実験・実習	8
		分子機能生化学 講義・演習	4
		分子機能生化学 実験・実習	8
		病態生化学 課題研究	8
		病態生化学 研究論文演習	4
系	生 体 機 能 制 御 学	細胞生理学 講義・演習	4
		細胞生理学 実験・実習	8
		統合生理学 講義・演習	4
		統合生理学 実験・実習	8
		生体物理工学 講義・演習	4
		生体物理工学 実験・実習	8
		生体機能制御学 課題研究	8
		生体機能制御学 研究論文演習	4
系	分 子 細 胞 薬 理 学	分子細胞薬理学 講義・演習	4
		分子細胞薬理学 実験・実習	8
		分子細胞薬理学 課題研究	8
		分子細胞薬理学 研究論文演習	4
病	病 理 学	病理学 講義・演習	4
		病理学 実験・実習	8
		病理学 課題研究	8
		病理学 研究論文演習	4
系	感 染 症 ・ 熱 帯 病 学	感染症・熱帯病学 講義・演習	4
		感染症・熱帯病学 実験・実習	8
		感染症・熱帯病学 課題研究	8
		感染症・熱帯病学 研究論文演習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	臨床検査医学	臨床検査医学 講義・演習 臨床検査医学 実験・実習 臨床検査医学 課題研究 臨床検査医学 研究論文演習	4 8 8 4	
社会医学系	社会医療情報学	社会医療情報学 講義・演習 社会医療情報学 実験・実習 社会医療情報学 課題研究 社会医療情報学 研究論文演習	4 8 8 4	
	法科学	法科学 講義・演習 法科学 実験・実習 法科学 課題研究 法科学 研究論文演習	4 8 8 4	
内科	内科学	呼吸器内科学 講義・演習 呼吸器内科学 実験・実習 神経内科学 講義・演習 神経内科学 実験・実習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 講義・演習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 実験・実習 循環器内科学 講義・演習 循環器内科学 実験・実習 血液内科学 講義・演習 血液内科学 実験・実習 消化器内科学 講義・演習 消化器内科学 実験・実習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 講義・演習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 実験・実習 腫瘍内科学 講義・演習 腫瘍内科学 実験・実習 内科学 課題研究 内科学 研究論文演習	4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 8 4	
		加齢医学	加齢医学 講義・演習 加齢医学 実験・実習 加齢医学 課題研究 加齢医学 研究論文演習	4 8 8 4
		総合医療学	総合医療学 講義・演習 総合医療学 実験・実習 総合医療学 課題研究 総合医療学 研究論文演習	4 8 8 4

第3類（杏林大学大学院学則）

別表1-2

医学研究科における授業科目及び単位
（平成27年度入学者から適用）

専攻	専門分野	授業科目	単位数
生	器官構築学	肉眼解剖学 講義・演習	4
		肉眼解剖学 実験・実習	8
		顕微解剖学 講義・演習	4
		顕微解剖学 実験・実習	8
		ゲノム・遺伝学 講義・演習	4
		ゲノム・遺伝学 実験・実習	8
		器官構築学 課題研究	8
		器官構築学 研究論文演習	4
理	病態生化学	分子細胞生物学 講義・演習	4
		分子細胞生物学 実験・実習	8
		代謝生化学 講義・演習	4
		代謝生化学 実験・実習	8
		分子機能生化学 講義・演習	4
		分子機能生化学 実験・実習	8
		病態生化学 課題研究	8
		病態生化学 研究論文演習	4
系	生体機能制御学	細胞生理学 講義・演習	4
		細胞生理学 実験・実習	8
		統合生理学 講義・演習	4
		統合生理学 実験・実習	8
		生体物理工学 講義・演習	4
		生体物理工学 実験・実習	8
		生体機能制御学 課題研究	8
		生体機能制御学 研究論文演習	4
系	分子細胞薬理学	分子細胞薬理学 講義・演習	4
		分子細胞薬理学 実験・実習	8
		分子細胞薬理学 課題研究	8
		分子細胞薬理学 研究論文演習	4
病	病理学	病理学 講義・演習	4
		病理学 実験・実習	8
		病理学 課題研究	8
		病理学 研究論文演習	4
系	感染症・熱帯病学	感染症・熱帯病学 講義・演習	4
		感染症・熱帯病学 実験・実習	8
		感染症・熱帯病学 課題研究	8
		感染症・熱帯病学 研究論文演習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	臨床検査医学	臨床検査医学 講義・演習 臨床検査医学 実験・実習 臨床検査医学 課題研究 臨床検査医学 研究論文演習	4 8 8 4	
社会医学系	社会医療情報学	社会医療情報学 講義・演習 社会医療情報学 実験・実習 社会医療情報学 課題研究 社会医療情報学 研究論文演習	4 8 8 4	
	法科学	法科学 講義・演習 法科学 実験・実習 法科学 課題研究 法科学 研究論文演習	4 8 8 4	
内科	内科学	呼吸器内科学 講義・演習 呼吸器内科学 実験・実習 神経内科学 講義・演習 神経内科学 実験・実習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 講義・演習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 実験・実習 循環器内科学 講義・演習 循環器内科学 実験・実習 血液内科学 講義・演習 血液内科学 実験・実習 消化器内科学 講義・演習 消化器内科学 実験・実習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 講義・演習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 実験・実習 腫瘍内科学 講義・演習 腫瘍内科学 実験・実習 内科学 課題研究 内科学 研究論文演習	4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 8 4	
		脳卒中医学	脳卒中医学 講義・演習 脳卒中医学 実験・実習 脳卒中医学 課題研究 脳卒中医学 研究論文演習	4 8 8 4
		加齢医学	加齢医学 講義・演習 加齢医学 実験・実習 加齢医学 課題研究 加齢医学 研究論文演習	4 8 8 4

第3類 (杏林大学大学院学則)

内	総合医療学	総合医療学 講義・演習	4	
		総合医療学 実験・実習	8	
		総合医療学 課題研究	8	
		総合医療学 研究論文演習	4	
小児科学	小児科学	小児科学 講義・演習	4	
		小児科学 実験・実習	8	
		小児科学 課題研究	8	
		小児科学 研究論文演習	4	
精神神経科学	精神神経科学	精神神経科学 講義・演習	4	
		精神神経科学 実験・実習	8	
		精神神経科学 課題研究	8	
		精神神経科学 研究論文演習	4	
皮膚科学	皮膚科学	皮膚科学 講義・演習	4	
		皮膚科学 実験・実習	8	
		皮膚科学 課題研究	8	
		皮膚科学 研究論文演習	4	
放射線医学	放射線医学	放射線医学 講義・演習	4	
		放射線医学 実験・実習	8	
		放射線医学 課題研究	8	
		放射線医学 研究論文演習	4	
外	外科学	消化器・一般外科学 講義・演習	4	
		消化器・一般外科学 実験・実習	8	
		呼吸器・甲状腺外科学 講義・演習	4	
		呼吸器・甲状腺外科学 実験・実習	8	
		乳腺外科学 講義・演習	4	
		乳腺外科学 実験・実習	8	
		外科学 課題研究	8	
		外科学 研究論文演習	4	
	救急医学	救急医学	救急医学 講義・演習	4
			救急医学 実験・実習	8
			救急医学 課題研究	8
			救急医学 研究論文演習	4
整形外科学	整形外科学	整形外科学 講義・演習	4	
		整形外科学 実験・実習	8	
		リハビリテーション医学 講義・演習	4	
		リハビリテーション医学 実験・実習	8	
		整形外科学 課題研究	8	
		整形外科学 研究論文演習	4	
系				

第3類 (杏林大学大学院学則)

外	脳 神 経 外 科 学	脳 神 経 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		脳 神 経 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		脳 神 経 外 科 学 課 題 研 究	8
		脳 神 経 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
心 臓 血 管 外 科 学	心 臓 血 管 外 科 学	心 臓 血 管 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		心 臓 血 管 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		心 臓 血 管 外 科 学 課 題 研 究	8
		心 臓 血 管 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
産 科 婦 人 科 学	産 科 婦 人 科 学	産 科 婦 人 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		産 科 婦 人 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		産 科 婦 人 科 学 課 題 研 究	8
		産 科 婦 人 科 学 研 究 論 文 演 習	4
眼 科 学	眼 科 学	眼 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		眼 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		眼 科 学 課 題 研 究	8
		眼 科 学 研 究 論 文 演 習	4
耳 鼻 咽 喉 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		耳 鼻 咽 喉 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		耳 鼻 咽 喉 科 学 課 題 研 究	8
		耳 鼻 咽 喉 科 学 研 究 論 文 演 習	4
泌 尿 器 科 学	泌 尿 器 科 学	泌 尿 器 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		泌 尿 器 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		泌 尿 器 科 学 課 題 研 究	8
		泌 尿 器 科 学 研 究 論 文 演 習	4
麻 酔 科 学	麻 酔 科 学	麻 酔 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		麻 酔 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		麻 酔 科 学 課 題 研 究	8
		麻 酔 科 学 研 究 論 文 演 習	4
小 児 外 科 学	小 児 外 科 学	小 児 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		小 児 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		小 児 外 科 学 課 題 研 究	8
		小 児 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
系 形 成 外 科 学	形 成 外 科 学	形 成 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		形 成 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		形 成 外 科 学 課 題 研 究	8
		形 成 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
専 攻 共 通 科 目		基 礎 臨 床 共 通 講 義 I	4
		基 礎 臨 床 共 通 講 義 II	2

第3類 (杏林大学大学院学則)

別表 1 - 3

医学研究科における授業科目及び単位
(平成31年度入学者から適用)

専攻	専 門 分 野	授 業 科 目	単位数
生	器 官 構 築 学	肉眼解剖学 講義・演習	4
		肉眼解剖学 実験・実習	8
		顕微解剖学 講義・演習	4
		顕微解剖学 実験・実習	8
		ゲノム・遺伝学 講義・演習	4
		ゲノム・遺伝学 実験・実習	8
		器官構築学 課題研究	8
		器官構築学 研究論文演習	4
理	病 態 生 化 学	分子細胞生物学 講義・演習	4
		分子細胞生物学 実験・実習	8
		代謝生化学 講義・演習	4
		代謝生化学 実験・実習	8
		分子機能生化学 講義・演習	4
		分子機能生化学 実験・実習	8
		病態生化学 課題研究	8
		病態生化学 研究論文演習	4
系	生 体 機 能 制 御 学	病態生理学 講義・演習	4
		病態生理学 実験・実習	8
		統合生理学 講義・演習	4
		統合生理学 実験・実習	8
		生体物理工学 講義・演習	4
		生体物理工学 実験・実習	8
		生体機能制御学 課題研究	8
		生体機能制御学 研究論文演習	4
系	分 子 細 胞 薬 理 学	分子細胞薬理学 講義・演習	4
		分子細胞薬理学 実験・実習	8
		分子細胞薬理学 課題研究	8
		分子細胞薬理学 研究論文演習	4
病	病 理 学	病理学 講義・演習	4
		病理学 実験・実習	8
		病理学 課題研究	8
		病理学 研究論文演習	4
系	感 染 症 ・ 熱 帯 病 学	感染症・熱帯病学 講義・演習	4
		感染症・熱帯病学 実験・実習	8
		感染症・熱帯病学 課題研究	8
		感染症・熱帯病学 研究論文演習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	臨床検査医学	臨床検査医学 講義・演習 臨床検査医学 実験・実習 臨床検査医学 課題研究 臨床検査医学 研究論文演習	4 8 8 4	
社会医学系	社会医療情報学	社会医療情報学 講義・演習 社会医療情報学 実験・実習 社会医療情報学 課題研究 社会医療情報学 研究論文演習	4 8 8 4	
	法科学	法科学 講義・演習 法科学 実験・実習 法科学 課題研究 法科学 研究論文演習	4 8 8 4	
内科	内科学	呼吸器内科学 講義・演習 呼吸器内科学 実験・実習 神経内科学 講義・演習 神経内科学 実験・実習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 講義・演習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 実験・実習 循環器内科学 講義・演習 循環器内科学 実験・実習 血液内科学 講義・演習 血液内科学 実験・実習 消化器内科学 講義・演習 消化器内科学 実験・実習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 講義・演習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 実験・実習 腫瘍内科学 講義・演習 腫瘍内科学 実験・実習 内科学 課題研究 内科学 研究論文演習	4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 8 4 4	
		脳卒中医学	脳卒中医学 講義・演習 脳卒中医学 実験・実習 脳卒中医学 課題研究 脳卒中医学 研究論文演習	4 8 8 4
		加齢医学	加齢医学 講義・演習 加齢医学 実験・実習 加齢医学 課題研究 加齢医学 研究論文演習	4 8 8 4

第3類 (杏林大学大学院学則)

内	総合医療学	総合医療学 講義・演習	4	
		総合医療学 実験・実習	8	
		総合医療学 課題研究	8	
		総合医療学 研究論文演習	4	
小児科学	小児科学	小児科学 講義・演習	4	
		小児科学 実験・実習	8	
		小児科学 課題研究	8	
		小児科学 研究論文演習	4	
精神神経科学	精神神経科学	精神神経科学 講義・演習	4	
		精神神経科学 実験・実習	8	
		精神神経科学 課題研究	8	
		精神神経科学 研究論文演習	4	
皮膚科学	皮膚科学	皮膚科学 講義・演習	4	
		皮膚科学 実験・実習	8	
		皮膚科学 課題研究	8	
		皮膚科学 研究論文演習	4	
放射線医学	放射線医学	放射線医学 講義・演習	4	
		放射線医学 実験・実習	8	
		放射線医学 課題研究	8	
		放射線医学 研究論文演習	4	
外	外科学	消化器・一般外科学 講義・演習	4	
		消化器・一般外科学 実験・実習	8	
		呼吸器・甲状腺外科学 講義・演習	4	
		呼吸器・甲状腺外科学 実験・実習	8	
		乳腺外科学 講義・演習	4	
		乳腺外科学 実験・実習	8	
		外科学 課題研究	8	
		外科学 研究論文演習	4	
	救急医学	救急医学	救急医学 講義・演習	4
			救急医学 実験・実習	8
			救急医学 課題研究	8
			救急医学 研究論文演習	4
整形外科学	整形外科学	整形外科学 講義・演習	4	
		整形外科学 実験・実習	8	
		リハビリテーション医学 講義・演習	4	
		リハビリテーション医学 実験・実習	8	
		整形外科学 課題研究	8	
		整形外科学 研究論文演習	4	
系				

第3類 (杏林大学大学院学則)

外	脳 神 経 外 科 学	脳 神 経 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		脳 神 経 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		脳 神 経 外 科 学 課 題 研 究	8
		脳 神 経 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
心 臓 血 管 外 科 学	心 臓 血 管 外 科 学	心 臓 血 管 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		心 臓 血 管 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		心 臓 血 管 外 科 学 課 題 研 究	8
		心 臓 血 管 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
産 科 婦 人 科 学	産 科 婦 人 科 学	産 科 婦 人 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		産 科 婦 人 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		産 科 婦 人 科 学 課 題 研 究	8
		産 科 婦 人 科 学 研 究 論 文 演 習	4
眼 科 学	眼 科 学	眼 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		眼 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		眼 科 学 課 題 研 究	8
		眼 科 学 研 究 論 文 演 習	4
耳 鼻 咽 喉 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		耳 鼻 咽 喉 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		耳 鼻 咽 喉 科 学 課 題 研 究	8
		耳 鼻 咽 喉 科 学 研 究 論 文 演 習	4
泌 尿 器 科 学	泌 尿 器 科 学	泌 尿 器 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		泌 尿 器 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		泌 尿 器 科 学 課 題 研 究	8
		泌 尿 器 科 学 研 究 論 文 演 習	4
麻 酔 科 学	麻 酔 科 学	麻 酔 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		麻 酔 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		麻 酔 科 学 課 題 研 究	8
		麻 酔 科 学 研 究 論 文 演 習	4
小 児 外 科 学	小 児 外 科 学	小 児 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		小 児 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		小 児 外 科 学 課 題 研 究	8
		小 児 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
系 形 成 外 科 学	形 成 外 科 学	形 成 外 科 学 講 義 ・ 演 習	4
		形 成 外 科 学 実 験 ・ 実 習	8
		形 成 外 科 学 課 題 研 究	8
		形 成 外 科 学 研 究 論 文 演 習	4
専 攻 共 通 科 目		基 礎 臨 床 共 通 講 義 I	4
		基 礎 臨 床 共 通 講 義 II	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表 1 - 4

医学研究科における授業科目及び単位
（令和4年度入学者からの適用）

科目区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
科目共通	特 別 研 究	8	
	医 学 研 究 講 義 I	4	
	医 学 研 究 講 義 II	2	
専門科目	脳 神 経 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	脳 神 経 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	脳 神 経 内 科 学 課 題 研 究		8
	呼 吸 器 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	呼 吸 器 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	呼 吸 器 内 科 学 課 題 研 究		8
	腎 臓 ・ リ ウ マ チ 膠 原 病 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	腎 臓 ・ リ ウ マ チ 膠 原 病 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	腎 臓 ・ リ ウ マ チ 膠 原 病 内 科 学 課 題 研 究		8
	循 環 器 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	循 環 器 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	循 環 器 内 科 学 課 題 研 究		8
	血 液 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	血 液 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	血 液 内 科 学 課 題 研 究		8
	糖 尿 病 ・ 内 分 泌 ・ 代 謝 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	糖 尿 病 ・ 内 分 泌 ・ 代 謝 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	糖 尿 病 ・ 内 分 泌 ・ 代 謝 内 科 学 課 題 研 究		8
	消 化 器 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	消 化 器 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	消 化 器 内 科 学 課 題 研 究		8
	腫 瘍 内 科 学 講 義 ・ 演 習		4
	腫 瘍 内 科 学 実 験 ・ 実 習		4
	腫 瘍 内 科 学 課 題 研 究		8
	高 齢 医 学 講 義 ・ 演 習		4
	高 齢 医 学 実 験 ・ 実 習		4
	高 齢 医 学 課 題 研 究		8
	精 神 神 経 科 学 講 義 ・ 演 習		4
精 神 神 経 科 学 実 験 ・ 実 習		4	
精 神 神 経 科 学 課 題 研 究		8	

第3類 (杏林大学大学院学則)

小 兒 科 学	講義・演習	4
小 兒 科 学	実験・実習	4
小 兒 科 学	課題研究	8
消化器・一般外科学	講義・演習	4
消化器・一般外科学	実験・実習	4
消化器・一般外科学	課題研究	8
呼吸器・甲状腺外科学	講義・演習	4
呼吸器・甲状腺外科学	実験・実習	4
呼吸器・甲状腺外科学	課題研究	8
乳 腺 外 科 学	講義・演習	4
乳 腺 外 科 学	実験・実習	4
乳 腺 外 科 学	課題研究	8
小 兒 外 科 学	講義・演習	4
小 兒 外 科 学	実験・実習	4
小 兒 外 科 学	課題研究	8
救 急 医 学	講義・演習	4
救 急 医 学	実験・実習	4
救 急 医 学	課題研究	8
脑 神 經 外 科 学	講義・演習	4
脑 神 經 外 科 学	実験・実習	4
脑 神 經 外 科 学	課題研究	8
心 臟 血 管 外 科 学	講義・演習	4
心 臟 血 管 外 科 学	実験・実習	4
心 臟 血 管 外 科 学	課題研究	8
整 形 外 科 学	講義・演習	4
整 形 外 科 学	実験・実習	4
整 形 外 科 学	課題研究	8
皮 膚 科 学	講義・演習	4
皮 膚 科 学	実験・実習	4
皮 膚 科 学	課題研究	8
形 成 外 科 学	講義・演習	4
形 成 外 科 学	実験・実習	4
形 成 外 科 学	課題研究	8
泌 尿 器 科 学	講義・演習	4
泌 尿 器 科 学	実験・実習	4
泌 尿 器 科 学	課題研究	8
眼 科 学	講義・演習	4
眼 科 学	実験・実習	4

第3類（杏林大学大学院学則）

眼	科	学	課 題 研 究	8
耳	鼻 咽 喉 科	学	講 義 ・ 演 習	4
耳	鼻 咽 喉 科	学	実 験 ・ 実 習	4
耳	鼻 咽 喉 科	学	課 題 研 究	8
産 科	婦 人 科	学	講 義 ・ 演 習	4
産 科	婦 人 科	学	実 験 ・ 実 習	4
産 科	婦 人 科	学	課 題 研 究	8
放 射	線 医 学		講 義 ・ 演 習	4
放 射	線 医 学		実 験 ・ 実 習	4
放 射	線 医 学		課 題 研 究	8
放 射	線 腫 瘍 学		講 義 ・ 演 習	4
放 射	線 腫 瘍 学		実 験 ・ 実 習	4
放 射	線 腫 瘍 学		課 題 研 究	8
麻 醉	科	学	講 義 ・ 演 習	4
麻 醉	科	学	実 験 ・ 実 習	4
麻 醉	科	学	課 題 研 究	8
臨 床	検 査 医 学		講 義 ・ 演 習	4
臨 床	検 査 医 学		実 験 ・ 実 習	4
臨 床	検 査 医 学		課 題 研 究	8
総 合	医 療 学		講 義 ・ 演 習	4
総 合	医 療 学		実 験 ・ 実 習	4
総 合	医 療 学		課 題 研 究	8
リハビリ	テー シ ョ ン 医 学		講 義 ・ 演 習	4
リハビリ	テー シ ョ ン 医 学		実 験 ・ 実 習	4
リハビリ	テー シ ョ ン 医 学		課 題 研 究	8
脳 卒 中	医 学		講 義 ・ 演 習	4
脳 卒 中	医 学		実 験 ・ 実 習	4
脳 卒 中	医 学		課 題 研 究	8
肉 眼	解 剖 学		講 義 ・ 演 習	4
肉 眼	解 剖 学		実 験 ・ 実 習	4
肉 眼	解 剖 学		課 題 研 究	8
顕 微	解 剖 学		講 義 ・ 演 習	4
顕 微	解 剖 学		実 験 ・ 実 習	4
顕 微	解 剖 学		課 題 研 究	8
統 合	生 理 学		講 義 ・ 演 習	4
統 合	生 理 学		実 験 ・ 実 習	4
統 合	生 理 学		課 題 研 究	8
病 態	生 理 学		講 義 ・ 演 習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

病態生理学	実験・実習	4
病態生理学	課題研究	8
代謝生化学	講義・演習	4
代謝生化学	実験・実習	4
代謝生化学	課題研究	8
細胞生化学	講義・演習	4
細胞生化学	実験・実習	4
細胞生化学	課題研究	8
薬理学	講義・演習	4
薬理学	実験・実習	4
薬理学	課題研究	8
病理学	講義・演習	4
病理学	実験・実習	4
病理学	課題研究	8
感染症学	講義・演習	4
感染症学	実験・実習	4
感染症学	課題研究	8
衛生学・公衆衛生学	講義・演習	4
衛生学・公衆衛生学	実験・実習	4
衛生学・公衆衛生学	課題研究	8
法医学	講義・演習	4
法医学	実験・実習	4
法医学	課題研究	8
発生・遺伝学	講義・演習	4
発生・遺伝学	実験・実習	4
発生・遺伝学	課題研究	8
生体物理工学	講義・演習	4
生体物理工学	実験・実習	4
生体物理工学	課題研究	8
分子機能生化学	講義・演習	4
分子機能生化学	実験・実習	4
分子機能生化学	課題研究	8

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-1

保健学研究科保健学専攻における授業科目及び単位
（平成29年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床検査・生命科学分野	細胞診断学特論	2
	感染症学特論	2
	感染症疫学特論	2
	免疫学特論	2
	解剖学特論	2
	機能性分子化学特論	2
	呼吸器病学	2
	薬理学特論	2
	生体情報学特論	2
	腫瘍病理学	2
	免疫血液学特論	2
	生体分子検査学特論（1）	2
	生体分子検査学特論（2）	2
	感染症バイオセーフティ学	2
	計算科学特論	2
	臨床細胞遺伝学特論	2
	解剖学特論（感覚系）	2
	炎症免疫学	2
	神経生物学特論	2
	婦人科腫瘍学特論	2
	血液疾患薬理学	2
	解剖学特論（神経発生）	2
	神経学特論	2
	遺伝子機能解析学特論	2
	細菌・ウイルス学特論	2
	臨床検査・生命科学特別講義Ⅰ	2
	臨床検査・生命科学特別講義Ⅱ	2
	細胞診断学演習	2
	感染管理	2
	薬物動態分析技術	2
	感染制御学演習	2
	細胞内寄生体学	2
	免疫解析技術	2
	光学・電子顕微鏡技術	2
機能分子化学演習	2	
生理機能解析技術	2	
生体分子検査学演習（1）	2	
輸血検査学演習	2	
計算科学演習	2	
生体分子検査学演習（2）	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

	病理組織診断技術	2
	光学・電子顕微鏡技術 (試料作業)	2
	臨床検査・生命科学特別演習Ⅰ	2
	臨床検査・生命科学特別演習Ⅱ	2
	特別研究	4
保健学分野	保健管理学特論	2
	地域保健福祉論	2
	臨床疫学	2
	学校保健学特論	2
	養護教育実践論	2
	健康エコロジー特論	2
	観光保健学特論	2
	養護教諭論特論	2
	心理心理学特論	2
	認知心理学特論	2
	産業精神保健学特論	2
	学校精神保健特論	2
	産業保健学特論	2
	成人保健学特論	2
	保健福祉学特論	2
	高齢者福祉学特論	2
	保健学特別講義Ⅰ	2
	保健学特別講義Ⅱ	2
	生物統計学演習	2
	養護実践学演習	2
保健学特別演習Ⅰ	2	
保健学特別演習Ⅱ	2	
特別研究	4	
臨床工学分野	循環器病学	2
	心電学Ⅰ	2
	超音波医学Ⅰ	2
	内科学Ⅰ	2
	生理学Ⅰ	2
	環境生理学Ⅰ	2
	先端臨床工学Ⅰ	2
	先端臨床工学Ⅱ	2
	医療と工学Ⅰ	2
	人工臓器工学Ⅰ	2
	臨床生理学特論	2
	感覚と生理学Ⅰ	2
	臨床工学特別講義Ⅰ	2
	臨床工学特別講義Ⅱ	2
	臨床工学特別講義Ⅲ	2
	臨床工学特別講義Ⅳ	2
計測プログラミン	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

	特 別 研 究	4
救 急 救 命 学 分 野	災 害 医 学 概 論	2
	外 傷 学 特 論	2
	心 肺 蘇 生 法 特 論	2
	救 急 病 態 学 特 論	2
	救 急 救 命 学 特 別 講 義 I	2
	救 急 救 命 学 特 別 講 義 II	2
	特 別 研 究	4
リハビリテーション 科 学 分 野	作 業 科 学 特 論 I	2
	作 業 科 学 特 論 II	2
	中 枢 神 經 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	運 動 器 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	内 部 障 害 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	発 達 障 害 理 学 療 法 学 特 論	2
	地 域 理 学 療 法 学 特 論	2
	高 齢 者 理 学 療 法 学 特 論	2
	精 神 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	神 經 系 作 業 療 法 学 特 論	2
	認 知 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	国 際 理 学 療 法 学 特 論	2
	呼 吸 循 環 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	理 学 療 法 管 理 工 学 特 論	2
	筋 骨 格 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	老 年 期 作 業 療 法 学 特 論	2
	生 活 環 境 支 援 学 特 論	2
	精 神 保 健 リハビテーション学特論	2
	物 理 療 法 学 特 論	2
	リハビリテーション科学特別講義I	2
	リハビリテーション科学特別講義II	2
	リハビリテーション科学特別講義III	2
	リハビリテーション科学特別講義IV	2
	理 学 療 法 機 能 評 価 学 演 習	2
	徒 手 理 学 療 法 学 演 習	2
	理 学 療 法 学 研 究 方 法 演 習	2
	発 達 障 害 理 学 療 法 学 演 習	2
	地 域 理 学 療 法 学 演 習	2
	高 齢 者 理 学 療 法 学 演 習	2
	精 神 障 害 作 業 療 法 学 演 習	2
	神 經 系 作 業 療 法 学 演 習	2
	神 經 心 理 学 的 検 査 法 演 習	2
	国 際 理 学 療 法 学 演 習	2
呼 吸 循 環 系 理 学 療 法 学 演 習	2	
ス ポ ー ツ 理 学 療 法 学 演 習	2	
地 域 作 業 療 法 学 演 習	2	
特 別 研 究	4	

第3類（杏林大学大学院学則）

診療放射線学分野	画像診断技術学特論	2
	核医学物理学特論	2
	医用画像情報学特論	2
	医用電磁気学	2
	磁気共鳴画像技術学特論	2
	放射線計測学特論	2
	原子核物理学	2
	放射線安全科学特論	2
	特別講義Ⅰ（機能画像解析学）	2
	診療放射線特別講義Ⅱ	2
	診療放射線特別講義Ⅲ	2
	画像診断技術学セミナー	2
	核医学物理学演習	2
医用画像情報学演習	2	
特別研究	4	
研究科共通科目	専門横断科目	2
	研究倫理	2

（2）博士後期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床検査・生命科学分野	感染症疫学	2
	免疫疫学	2
	細胞診断学	2
	機能分子化学	2
	分子解剖学	2
	感染制御学	2
	薬物動態解析学	2
	神経生物学	2
	生体侵襲と免疫	2
	分子解剖学（感覚系）	2
	神経病理学	2
	腫瘍組織学	2
	計算科学	2
	分子解剖学セミナー	2
	免疫学セミナー	2
	神経生物学セミナー	2
	応用免疫学セミナー	2
	細胞診・病理セミナー	2
	生体分子検査学セミナー（1）	2
	生体分子検査学セミナー（2）	2

第3類 (杏林大学大学院学則)

保健学・救急救命学分野	疫				学	2							
	養	護	教	育	学	2							
	心		理		学	2							
	人	類	生	態	学	2							
	産	業	保	健	学	2							
	保	健	福	祉	学	2							
	臨	床	心	理	学	2							
	保	健	学	特	別	講	義	I	2				
	保	健	学	特	別	講	義	II	2				
	疫	学	セ	ミ	ナ	一	2						
	環	境	問	題	演	習	2						
	保	健	科	教	材	研	究	2					
	養	護	実	践	学	A	2						
	養	護	実	践	学	B	2						
	養	護	実	践	学	セ	ミ	ナ	一	2			
	保	健	学	特	別	演	習	I	2				
	保	健	学	特	別	演	習	II	2				
	心	肺	蘇	生	法	演	習	2					
	救	急	病	態	学		2						
	救	急	救	命	学	特	別	講	義	I	2		
救	急	救	命	学	特	別	講	義	II	2			
災	害	医	学	セ	ミ	ナ	一	2					
外	傷	セ	ミ	ナ	一	2							
救	急	救	命	学	特	別	演	習	I	2			
救	急	救	命	学	特	別	演	習	II	2			
臨床工学分野	心	電	学	II	2								
	超	音	波	医	学	II	2						
	先	端	臨	床	工	学	III	2					
	生	命	支	援	工	学	2						
	人	体	の	許	容	限	界	2					
	臨	床	工	学	特	別	講	義	I	2			
	臨	床	工	学	特	別	講	義	II	2			
	臨	床	医	学	セ	ミ	ナ	一	2				
循	環	器	病	学	セ	ミ	ナ	一	2				
リハビリテーション 科学分野	が	ん	の	理	学	療	法	学	2				
	徒	手	理	学	療	法	学	2					
	小	児	理	学	療	法	学	2					
	中	枢	神	經	系	理	学	療	法	学	2		
	国	際	理	学	療	法	学	2					
	地	域	生	活	環	境	学	2					
	作	業	科	学	2								
	精	神	障	害	作	業	療	法	学	2			
	神	經	系	作	業	療	法	学	2				
	認	知	・	運	動	・	活	動	障	害	学	2	
	老	年	期	障	害	作	業	療	法	学	2		
臨	床	理	学	療	法	推	論	学	セ	ミ	ナ	一	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	障害者スポーツ支援学セミナー	2
	小児理学療法学セミナー	2
	臨床理学療法学研究法セミナー	2
	脳卒中上肢機能回復学セミナー	2
	神経系病態学セミナー	2
	運動器障害作業療法学特論	2
診療放射線学分野	画像診断学特論	2
	分子画像技術学特論	2
	多次元医用画像工学特論	2
	磁気共鳴画像工学特論	2
	放射線応用計測学	2
	画像診断学セミナー	2
	分子画像技術学演習	2
	多次元医用画像工学演習	2
	磁気共鳴画像工学演習	2
特別研究	特別研究Ⅰ	4
	特別研究Ⅱ	2
	特別研究Ⅲ	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-2

保健学研究科看護学専攻における授業科目及び単位
（平成29年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
基礎看護科学分野	看護医療安全教育特論	2
	遺伝看護学特論	2
	法医看護学特論	2
	小児保健看護学特論	2
	生活機能看護学特論	2
	特別講義	2
	看護医療安全教育演習	2
	小児保健看護学演習	2
	生活機能看護学演習	2
	特別演習	2
特別研究	4	
実践看護科学分野	高齢者看護学特論	2
	ウイメンズヘルス看護学特論	2
	助産学特論	2
	小児看護学特論	2
	地域看護学特論Ⅰ	2
	地域看護学特論Ⅱ	2
	在宅看護学特論	2
	特別講義	2
	高齢者看護学演習	2
	ウイメンズヘルス看護学演習	2
	助産学演習	2
	小児看護学演習	2
	地域看護学演習Ⅰ	2
	地域看護学演習Ⅱ	2
	在宅看護学演習	2
特別演習（がん看護）	2	
特別演習（クリティカルケア看護）	2	
特別演習（精神看護）	2	
特別研究	4	
実践看護科学分野 （CNSコース）	がん看護学特論Ⅰ	2
	がん看護学特論Ⅱ	2
	がん看護学特論Ⅲ	2
	がん看護学特論Ⅳ	2
	がん看護学演習Ⅰ	2
	がん看護学演習Ⅱ	2
	がん看護学実習	10
	精神看護学特論Ⅰ	2
	精神看護学特論Ⅱ	2
	精神看護学特論Ⅲ	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	精神看護学特論Ⅳ	4
	精神看護学特論Ⅴ	2
	精神看護学演習Ⅰ	2
	精神看護学演習Ⅱ	2
	精神看護学実習	10
	クリティカルケア看護学特論Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅱ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅲ	2
	病態治療論	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅱ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅲ	2
	クリティカルケア看護学実習	10
専攻共通科目	看護教育学特論	2
	看護管理学特論	2
	看護研究方法論	2
	コンサルテーション論	2
	看護政策学特論	2
	家族看護学特論	2
	フィジカルアセスメント	2
	病態生理学	2
	臨床薬理学	2
研究科共通科目	専門横断科目	2
	研究倫理	2

(2) 博士後期課程

専門分野	授業科目	単位数
基礎看護科学分野	生活機能看護学 A	4
	生活機能看護学 B	2
	医療安全管理学 A	4
	医療安全管理学 B	2
	統計学Ⅰ	2
	統計学Ⅱ	2
	小児保健看護学 A	4
	小児保健看護学 B	2
実践看護科学分野	成人看護学（急性期） A	4
	成人看護学（急性期） B	2
	成人看護学（慢性期） A	4
	成人看護学（慢性期） B	2
	小児看護学 A	4

第3類（杏林大学大学院学則）

	小児看護学 B	2
	精神看護学 A	4
	精神看護学 B	2
	ウィメンズヘルス看護学 A	4
	ウィメンズヘルス看護学 B	2
	地域看護学 A	4
	地域看護学 B	2
ジャーナルクラブ	ジャーナルクラブ I	2
	ジャーナルクラブ II	2
特別研究	特別研究 I	4
	特別研究 II	2
	特別研究 III	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-3

保健学研究科臨床心理学専攻における授業科目及び単位
（令和4年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床心理学分野	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2
	福祉分野に関する理論と支援の展開	2
	教育分野に関する理論と支援の展開	2
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
	心理的アセスメントに関する理論と実践	2
	心理支援に関する理論と実践	2
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2
	心の健康教育に関する理論と実践	2
	心理実践実習Ⅰ	2
	心理実践実習Ⅱ	2
	心理実践実習Ⅲ	2
	心理実践実習Ⅳ	4
	臨床心理学特別演習Ⅰ	2
	臨床心理学特別演習Ⅱ	2
ゼミナールⅠ	2	
ゼミナールⅡ	2	
特別演習	2	
研究科共通科目	専門横断科目	2
	研究倫理	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-1（平成28年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

（1）博士前期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
国際開発専攻	国際政治研究	国際政治特論A	2	
		国際政治特論B	2	
		国際政治経済特論A	2	
		国際政治経済特論B	2	
		安全保障特論A	2	
		安全保障特論B	2	
		現代アジア特論A	2	
		現代アジア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史特論A	2	
		アジア交流史特論B	2	
		日本政治特論A	2	
		日本政治特論B	2	
		国際法特論A	2	
		国際法特論B	2	
		地域圏特論A	2	
		地域圏特論B	2	
	国際経済研究	世界経済特論A	2	
		世界経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
		国際協力特論A	2	
		国際協力特論B	2	
		国際開発特論A	2	
		国際開発特論B	2	
技術協力実践論A	2			
技術協力実践論B	2			
NGO特論A	2			
NGO特論B	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

国際ビジネス研究	国際企業文化特論A	2	
	国際企業文化特論B	2	
	商法特論A	2	
	商法特論B	2	
	会計特論A	2	
	会計特論B	2	
	国際経営特論A	2	
	国際経営特論B	2	
	マーケティング特論A	2	
	マーケティング特論B	2	
	国際会計特論A	2	
	国際会計特論B	2	
	国際コミュニケーション特論A	2	
	国際コミュニケーション特論B	2	
	法律税務研究	憲法特論A	2
憲法特論B		2	
相続法特論A		2	
相続法特論B		2	
財産法特論A		2	
財産法特論B		2	
刑事法特論A		2	
刑事法特論B		2	
税法特論A		2	
税法特論B		2	
租税法特論A		2	
租税法特論B		2	
情報法制特論A		2	
情報法制特論B		2	
国際文化交流専攻	言語学特論A	2	
	言語学特論B	2	
	対照言語学特論A	2	
	対照言語学特論B	2	
	対照音韻学特論A	2	
	対照音韻学特論B	2	
	日本語構造論A	2	
	日本語構造論B	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

	言語文化研究	言語文化相関論 A 言語文化相関論 B 日本語文化特論 A 日本語文化特論 B 日本語教育特論 I A 日本語教育特論 I B 日本語教育特論 II A 日本語教育特論 II B バイリンガル教育特論 A バイリンガル教育特論 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	文化交流研究	日本文化特論 A 日本文化特論 B 文化交流特論 A 文化交流特論 B 現代中国文化社会特論 A 現代中国文化社会特論 B 国際観光特論 A 国際観光特論 B 日欧文化交流史 A 日欧文化交流史 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
国際医療協力専攻	国際保健学研究	保健医療研究法 I 保健医療研究法 II 環境保健学特論 社会福祉学特論 人類生態学特論 環境問題特論 母子保健学特論 国際疫学特論 環境経済学特論 ヘルスコミュニケーション特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	国際医療研究	感染症・寄生虫学特論 災害医療特論 医療安全特論 医療特論 基礎医学特論 疾病概論 医療社会学特論 医療経済学特論 医療協力関連法規論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

国際言語コミュニケーション専攻	英語コミュニケーション研究	英語コミュニケーション概論A	2	
		英語コミュニケーション概論B	2	
		国際言語文化論（英語分野）A	2	
		国際言語文化論（英語分野）B	2	
		日英比較言語社会学特論A	2	
		日英比較言語社会学特論B	2	
		テキスト言語学特論A	2	
		テキスト言語学特論B	2	
		英語学特論A	2	
		英語学特論B	2	
	応用言語学特論A	2		
	応用言語学特論B	2		
	日中通訳翻訳研究	日中通訳概論A	2	
		日中通訳概論B	2	
		日中翻訳概論A	2	
		日中翻訳概論B	2	
		国際言語文化論（中国語分野）A	2	
		国際言語文化論（中国語分野）B	2	
		日中比較文化論A	2	
		日中比較文化論B	2	
日中逐次通訳特論ⅠA		2		
日中逐次通訳特論ⅠB		2		
日中逐次通訳特論ⅡA		2		
日中逐次通訳特論ⅡB		2		
日中同時通訳特論A		2		
日中同時通訳特論B		2		
通訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
通訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
専攻共通	演習	論文指導Ⅰ	8	
		論文指導Ⅱ－1	2	
		論文指導Ⅱ－2	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－1	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－2	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専攻	専門分野	授 業 科 目	単位数	備 考
開発問題専攻	政治経済・法制	国際経営論演習Ⅰ	4	
		国際経営論演習Ⅱ	4	
		国際経営論演習Ⅲ	4	
		世界経済論演習Ⅰ	4	
		世界経済論演習Ⅱ	4	
		世界経済論演習Ⅲ	4	
		会計学演習Ⅰ	4	
		会計学演習Ⅱ	4	
		会計学演習Ⅲ	4	
		比較法制論演習Ⅰ	4	
		比較法制論演習Ⅱ	4	
		比較法制論演習Ⅲ	4	
		財産法演習Ⅰ	4	
		財産法演習Ⅱ	4	
		財産法演習Ⅲ	4	
		医事法演習Ⅰ	4	
		医事法演習Ⅱ	4	
		医事法演習Ⅲ	4	
		政治学演習Ⅰ	4	
		政治学演習Ⅱ	4	
		政治学演習Ⅲ	4	
		金融論演習Ⅰ	4	
		金融論演習Ⅱ	4	
		金融論演習Ⅲ	4	
		国際法論	2	
		国際経済論	2	
		国際政治論	2	
	地域研究・開発協力	国際貿易論演習Ⅰ	4	
		国際貿易論演習Ⅱ	4	
		国際貿易論演習Ⅲ	4	
		国際協力論演習Ⅰ	4	
		国際協力論演習Ⅱ	4	
		国際協力論演習Ⅲ	4	
現代中国政治論演習Ⅰ		4		
現代中国政治論演習Ⅱ		4		
現代中国政治論演習Ⅲ		4		
人類生態学演習Ⅰ		4		
人類生態学演習Ⅱ		4		

第3類 (杏林大学大学院学則)

	人類生態学演習Ⅲ	4
	環境保健学演習Ⅰ	4
	環境保健学演習Ⅱ	4
	環境保健学演習Ⅲ	4
	環境問題演習Ⅰ	4
	環境問題演習Ⅱ	4
	環境問題演習Ⅲ	4
	社会福祉学演習Ⅰ	4
	社会福祉学演習Ⅱ	4
	社会福祉学演習Ⅲ	4
	医療経済学演習Ⅰ	4
	医療経済学演習Ⅱ	4
	医療経済学演習Ⅲ	4
	社会言語学演習Ⅰ	4
	社会言語学演習Ⅱ	4
	社会言語学演習Ⅲ	4
	日本語教授法論演習Ⅰ	4
	日本語教授法論演習Ⅱ	4
	日本語教授法論演習Ⅲ	4
	日本語教育論演習Ⅰ	4
	日本語教育論演習Ⅱ	4
	日本語教育論演習Ⅲ	4
	言語文化論演習Ⅰ	4
	言語文化論演習Ⅱ	4
	言語文化論演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語通訳分野)演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語通訳分野)演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語通訳分野)演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語翻訳分野)演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語翻訳分野)演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語翻訳分野)演習Ⅲ	4
	観光保健生態学	2
	地域開発論	2
	国際コミュニケーション論	2
	日本語文化論	2
	比較文化論	2
	異文化コミュニケーション論	2
	言語文化論	2
	介護政策論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-2（平成31年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

(1) 博士前期課程

専攻	専門分野	授 業 科 目	単位数	備 考
国際開発専攻	国際政治研究	国際政治特論A	2	
		国際政治特論B	2	
		国際政治経済特論A	2	
		国際政治経済特論B	2	
		比較政治学特論A	2	
		比較政治学特論B	2	
		比較行政学特論A	2	
		比較行政学特論B	2	
		現代アジア特論A	2	
		現代アジア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史特論A	2	
		アジア交流史特論B	2	
		日本政治特論A	2	
		日本政治特論B	2	
		国際法特論A	2	
		国際法特論B	2	
	地域圏特論A	2		
	地域圏特論B	2		
	国際経済研究	日本経済特論A	2	
		日本経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
		国際協力特論A	2	
		国際協力特論B	2	
国際開発特論A		2		
国際開発特論B		2		
アメリカ経済特論A	2			
アメリカ経済特論B	2			
ヨーロッパ経済特論A	2			
ヨーロッパ経済特論B	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

国際ビジネス研究	経営特論A	2	
	経営特論B	2	
	会計特論A	2	
	会計特論B	2	
	国際経営特論A	2	
	国際経営特論B	2	
	産業システム特論A	2	
	産業システム特論B	2	
	マーケティング特論A	2	
	マーケティング特論B	2	
	会計制度特論A	2	
	会計制度特論B	2	
	国際会計特論A	2	
	国際会計特論B	2	
	法律税務研究	憲法特論A	2
憲法特論B		2	
企業法特論A		2	
企業法特論B		2	
家族法特論A		2	
家族法特論B		2	
財産法特論A		2	
財産法特論B		2	
刑事法特論A		2	
刑事法特論B		2	
租税法特殊研究A		2	
租税法特殊研究B		2	
租税法特論A		2	
租税法特論B		2	
比較法特論A	2		
比較法特論B	2		
国際医療協力専攻	国際保健学研究		
	保健医療研究法Ⅰ	2	
	保健医療研究法Ⅱ	2	
	環境保健学特論	2	
	人類生態学特論	2	
	母子保健学特論	2	
	国際疫学特論	2	
	環境経済学特論	2	
ヘルスコミュニケーション特論	2		

第3類（杏林大学大学院学則）

	国際医療研究	感染症・寄生虫学特論 災害医療特論 医療特論 基礎医学特論 疾病概論 医療社会学特論 医療経済学特論 医療協力関連法規論	2 2 2 2 2 2 2 2			
	国際福祉研究	高齢者福祉特論 国際社会保障特論 国際児童福祉特論 福祉サービス管理特論 障害者福祉特論	2 2 2 2 2			
グローバル・コミュニケーション専攻	日中通訳翻訳研究	日中通訳概論A 日中通訳概論B 日中翻訳概論A 日中翻訳概論B 日中比較文化論A 日中比較文化論B 日中逐次通訳特論A 日中逐次通訳特論B 日中同時通訳特論A 日中同時通訳特論B 通訳理論と技法特論（中国語分野）A 通訳理論と技法特論（中国語分野）B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
		英語研究	英語コミュニケーション概論A 英語コミュニケーション概論B 国際言語文化論（英語分野）A 国際言語文化論（英語分野）B 日英比較言語社会学特論A 日英比較言語社会学特論B テキスト言語学特論A テキスト言語学特論B 英語学特論A 英語学特論B 応用言語学特論A 応用言語学特論B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
			日本語研究	日本語構造論A 日本語構造論B	2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

		言語文化相関論A 言語文化相関論B 日本語文化特論A 日本語文化特論B 日本語教育特論ⅠA 日本語教育特論ⅠB 日本語教育特論ⅡA 日本語教育特論ⅡB 対照音韻学特論A 対照音韻学特論B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	共通科目	言語学特論A 言語学特論B 日本文化特論A 日本文化特論B 観光文化論A 観光文化論B 日欧文化交流史A 日欧文化交流史B	2 2 2 2 2 2 2 2	
専攻共通	基礎科目	アカデミック・ライティング アカデミック・ジャパニーズ 統計学	2 2 2	
	演習	論文指導Ⅰ 論文指導Ⅱ－1 論文指導Ⅱ－2 論文指導(海外、企業等実習)Ⅲ－1 論文指導(海外、企業等実習)Ⅲ－2	8 2 2 2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2） 博士後期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
開 発 問 題 専 攻	政治経済・法 制	国際経営学演習Ⅰ	4	
		国際経営学演習Ⅱ	4	
		国際経営学演習Ⅲ	4	
		国際経営論演習Ⅰ	4	
		国際経営論演習Ⅱ	4	
		国際経営論演習Ⅲ	4	
		日本経済論演習Ⅰ	4	
		日本経済論演習Ⅱ	4	
		日本経済論演習Ⅲ	4	
		国際経済学演習Ⅰ	4	
		国際経済学演習Ⅱ	4	
		国際経済学演習Ⅲ	4	
		会計学演習Ⅰ	4	
		会計学演習Ⅱ	4	
		会計学演習Ⅲ	4	
		比較法制論演習Ⅰ	4	
		比較法制論演習Ⅱ	4	
		比較法制論演習Ⅲ	4	
		民事法演習Ⅰ	4	
		民事法演習Ⅱ	4	
		民事法演習Ⅲ	4	
		刑事法演習Ⅰ	4	
		刑事法演習Ⅱ	4	
		刑事法演習Ⅲ	4	
		政治学演習Ⅰ	4	
		政治学演習Ⅱ	4	
		政治学演習Ⅲ	4	
		国際政治学演習Ⅰ	4	
		国際政治学演習Ⅱ	4	
		国際政治学演習Ⅲ	4	
		金融論演習Ⅰ	4	
		金融論演習Ⅱ	4	
		金融論演習Ⅲ	4	
		国際法論演習Ⅰ	4	
		国際法論演習Ⅱ	4	
		国際法論演習Ⅲ	4	
国際法論	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

		国際経済論	2	
		国際政治論	2	
	地域研究・開 発協力	国際貿易論演習Ⅰ	4	
		国際貿易論演習Ⅱ	4	
		国際貿易論演習Ⅲ	4	
		国際協力論演習Ⅰ	4	
		国際協力論演習Ⅱ	4	
		国際協力論演習Ⅲ	4	
		現代中国政治論演習Ⅰ	4	
		現代中国政治論演習Ⅱ	4	
		現代中国政治論演習Ⅲ	4	
		人類生態学演習Ⅰ	4	
		人類生態学演習Ⅱ	4	
		人類生態学演習Ⅲ	4	
		環境問題演習Ⅰ	4	
		環境問題演習Ⅱ	4	
		環境問題演習Ⅲ	4	
		社会福祉学演習Ⅰ	4	
		社会福祉学演習Ⅱ	4	
		社会福祉学演習Ⅲ	4	
		医療経済学演習Ⅰ	4	
		医療経済学演習Ⅱ	4	
		医療経済学演習Ⅲ	4	
		日本語学演習Ⅰ	4	
		日本語学演習Ⅱ	4	
		日本語学演習Ⅲ	4	
		国際言語コミュニケーション（英語分野）演習Ⅰ	4	
		国際言語コミュニケーション（英語分野）演習Ⅱ	4	
		国際言語コミュニケーション（英語分野）演習Ⅲ	4	
		国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅰ	4	
		国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅱ	4	
		国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅲ	4	
		国際保健医療学特論	2	
		日本言語文化論	2	
		比較社会文化論	2	
	コミュニケーション論	2		
	応用言語学	2		
	言語教育論	2		

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-3（令和4年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

（1）博士前期課程

専攻	専門分野	授 業 科 目	単位数	備 考
国際開発専攻	国際政治研究	国際政治特論A	2	
		国際政治特論B	2	
		国際政治経済特論A	2	
		国際政治経済特論B	2	
		比較政治学特論A	2	
		比較政治学特論B	2	
		比較行政学特論A	2	
		比較行政学特論B	2	
		現代アジア特論A	2	
		現代アジア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史特論A	2	
		アジア交流史特論B	2	
		日本政治特論A	2	
		日本政治特論B	2	
		国際法特論A	2	
		国際法特論B	2	
	地域圏特論A	2		
	地域圏特論B	2		
	国際経済研究	日本経済特論A	2	
		日本経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
		国際協力特論A	2	
		国際協力特論B	2	
国際開発特論A		2		
国際開発特論B		2		
アメリカ経済特論A	2			
アメリカ経済特論B	2			
ヨーロッパ経済特論A	2			
ヨーロッパ経済特論B	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

	国際ビジネス研究	経営特論A	2	
		経営特論B	2	
		会計特論A	2	
		会計特論B	2	
		国際経営特論A	2	
		国際経営特論B	2	
		産業システム特論A	2	
		産業システム特論B	2	
		マーケティング特論A	2	
		マーケティング特論B	2	
		会計制度特論A	2	
		会計制度特論B	2	
		国際会計特論A	2	
		国際会計特論B	2	
	法律税務研究	憲法特論A	2	
		憲法特論B	2	
		企業法特論A	2	
		企業法特論B	2	
家族法特論A		2		
家族法特論B		2		
財産法特論A		2		
財産法特論B		2		
刑事法特論A		2		
刑事法特論B		2		
租税法特殊研究A		2		
租税法特殊研究B		2		
租税法特論A		2		
租税法特論B		2		
比較法特論A	2			
比較法特論B	2			
国際医療協力専攻	国際保健学研究	保健医療研究法Ⅰ	2	
		保健医療研究法Ⅱ	2	
		環境保健学特論	2	
		人類生態学特論	2	
		母子保健学特論	2	
		国際疫学特論	2	
		環境経済学特論	2	
		ヘルスコミュニケーション特論	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

	国際医療研究	感染症・寄生虫学特論 災害医療特論 医療特論 基礎医学特論 疾病概論 医療社会学特論 医療経済学特論 医療協力関連法規論	2 2 2 2 2 2 2 2			
	国際福祉研究	高齢者福祉特論 国際社会保障特論 国際児童福祉特論 福祉サービス管理特論 障害者福祉特論	2 2 2 2 2			
グローバル・コミュニケーション専攻	日中通訳翻訳研究	日中通訳概論A 日中通訳概論B 日中翻訳概論A 日中翻訳概論B 日中比較文化論A 日中比較文化論B 日中逐次通訳特論A 日中逐次通訳特論B 日中同時通訳特論A 日中同時通訳特論B 通訳理論と技法特論（中国語分野）A 通訳理論と技法特論（中国語分野）B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
		英語研究	英語コミュニケーション概論A 英語コミュニケーション概論B 国際言語文化論（英語分野）A 国際言語文化論（英語分野）B 日英比較言語社会学特論A 日英比較言語社会学特論B テキスト言語学特論A テキスト言語学特論B 英語学特論A 英語学特論B 応用言語学特論A 応用言語学特論B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
			日本語研究	日本語構造論A 日本語構造論B	2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

		言語文化相関論A 言語文化相関論B 日本語文化特論A 日本語文化特論B 日本語教育特論ⅠA 日本語教育特論ⅠB 日本語教育特論ⅡA 日本語教育特論ⅡB 対照音韻学特論A 対照音韻学特論B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	共通科目	言語学特論A 言語学特論B 日本文化特論A 日本文化特論B 観光文化論A 観光文化論B 日欧文化交流史A 日欧文化交流史B	2 2 2 2 2 2 2 2	
専攻共通	基礎科目	アカデミック・ライティング アカデミック・ジャパニーズ 統計学	2 2 2	
	演習	論文指導Ⅰ 論文指導Ⅱ－1 論文指導Ⅱ－2 論文指導(海外、企業等実習)Ⅲ－1 論文指導(海外、企業等実習)Ⅲ－2	8 2 2 2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2） 博士後期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数
開発問題専攻	研究指導科目	研究指導Ⅰ	4
		研究指導Ⅱ	4
		研究指導Ⅲ	4
		特別研究指導Ⅰ	4
		特別研究指導Ⅱ	4
	専門科目	国際経営学	2
		国際経済学	2
		政治学	2
		国際政治学	2
		金融論	2
		国際保健医療学特論	2
		日本言語文化論	2
		比較社会文化論	2
コミュニケーション論	2		
応用言語学	2		
言語教育論	2		

第3類（杏林大学大学院学則）

別表 4

授業料その他の学納金

学生区分	学納金等区分	医学研究科	保健学研究科				国際協力研究科	
		博士課程	博士前期課程		博士後期課程		博士前期課程	博士後期課程
			保健学 専攻・ 臨床心理学 専攻	看護学 専攻	保健学 専攻	看護学 専攻		
大学院生	※入 学 料	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
	授業料(年額)	600,000円	500,000円	800,000円	500,000円	600,000円	450,000円	450,000円
	施設設備費(初年度)	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円

※ 本学の学部卒業生及び大学院修了者が入学する場合には、入学料を免除する。